

## 自然科学研究機構分子科学研究所機器センター装置有償利用要項

平成25年3月29日

分子科学研究所長決定

### (趣旨)

第1 この要項は、自然科学研究機構分子科学研究所（以下「研究所」という。）機器センターで管理する装置の有償利用に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (定義)

第2 この要項において「装置の有償利用」とは、研究所の装置を利用する者（以下「利用者」という。）が別紙の各号に掲げる装置を有償で利用することをいう。

### (申請)

第3 利用者は、あらかじめ別記様式第1号又は第2号による申請書を研究所長に提出しなければならない。

### (許可)

第4 研究所長は、前条による申請書の提出があった場合は、機器センター長の意見を聴き、適当と認めたときは、別記様式第3号により、利用を許可するものとする。

### (報告書)

第5 利用者は、装置の利用を終了又は中止したときは、成果公開の場合は、研究所の指定する期日までに別に定める様式による報告書を、成果非公開の場合は、その終了の日から1カ月以内に別記様式第4号による報告書を研究所長に提出しなければならない。

### (実施確認)

第6 機器センター装置担当者は、利用者が装置の利用を終了したときは、速やかに別記様式第5号による実施確認書を研究所長に提出しなければならない。

### (知的財産権の取扱い)

第7 利用者が、装置を利用して得られた研究成果による発明等に係る知的財産権（「知的財産権」とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、回路配置利用権、育成者権、著作権、ノウハウ及びその他一切の知的財産権をいう。）の取扱いは、大学共同利用機関法人自然科学研究機構職務発明等規程（平成16年自機規程第12号）に定めるところによる。

### (使用料)

第8 利用者は、別に定めるところにより装置の使用料を納付しなければならない。

(遵守事項)

第9 利用者は、研究所の規則、関係法令及び指示等を遵守するとともに安全の確保に努めなければならない。

(損害賠償)

第10 利用者は、故意又は重大な過失により、研究所の施設・設備等を滅失又はき損したときは、その損害を賠償しなければならない。

(その他)

第11 この要項の実施に関し必要な事項は、機器センター長が別に定める。

**附 則**

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成25年10月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成26年7月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成29年6月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和3年7月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和4年1月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和4年7月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和5年7月14日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和6年1月15日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和6年7月8日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

**附 則**

この要項は、令和6年12月1日から施行する。

**附 則**

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

## 別 紙

- 一 低真空分析走査電子顕微鏡(SEM) Hitachi SU6600
- 二 電界放出形透過電子顕微鏡 JEOL JEM-2100F
- 三 単結晶X線回折装置 Rigaku XtaLAB Synergy-R/DW
- 四 単結晶X線回折装置 Rigaku MERCURY CCD-1・R-AXIS IV
- 五 単結晶X線回折装置 Rigaku MERCURY CCD-2
- 六 単結晶X線回折装置(微小結晶用) Rigaku HyPix-AFC
- 七 結晶スポンジ法を用いた分子構造解析 Rigaku XtaLAB P200
- 八 結晶スポンジ法を用いた分子構造解析 Rigaku XtaLAB SynergyCustom
- 九 粉末X線回折装置 Rigaku RINT-UltimaIII
- 十 オペラント多目的X線回折装置 Malvern Panalytical Empyrean
- 十一 X線溶液散乱計測システム Rigaku NANO-Viewer
- 十二 機能性材料バンド構造顕微分析システム Scienta Omicron DA30
- 十三 X線光電子分光 Scienta Omicron R4000L1, MX-650, VUV5k
- 十四 電子スピン共鳴装置 Bruker E680
- 十五 電子スピン共鳴装置 Bruker EMX Plus
- 十六 電子スピン共鳴装置 Bruker E500
- 十七 電子スピン共鳴装置 Bruker E580
- 十八 SQUID型磁化測定装置 Quantum Design MPMS-7
- 十九 SQUID型磁化測定装置 Quantum Design MPMS-XL7
- 二十 SQUID型磁化測定装置 Quantum Design MPMS-3
- 二一 示差走査型カロリメーター MicroCal PEAQ-DSC
- 二二 等温滴定型カロリメーター MicroCal iTC200
- 二三 等温滴定型カロリメーター MicroCal PEAQ-ITC
- 二四 熱分析装置 Rigaku DSC8231/TG-DTA8122
- 二五 MALDI-TOF質量分析計(MALDI-TOF-MS) Bruker Daltonics microflex LRF
- 二六 顕微ラマン分光装置 RENISHAW inVia Reflex
- 二七 フーリエ変換赤外分光光度計 Bruker IFS66v
- 二八 蛍光分光光度計 HORIBA SPEX Fluorolog 3-21
- 二九 紫外・可視・近赤外分光光度計 SHIMADZU UV-3600Plus
- 三十 量子収率測定装置 HAMAMATSU Quantaaurus-QY C11347-01
- 三一 円二色性分散計 JASCO J-1500
- 三二 ピコ秒レーザー Spectra-Physics, Quantronix Millennia-Tsunami,  
TITAN-TOPAS
- 三三 核磁気共鳴装置 Bruker AVANCE 600
- 三四 核磁気共鳴装置 JEOL JNM-ECA600
- 三五 核磁気共鳴装置 JEOL JNM-ECZL600G
- 三六 電子線プローブマイクロアナライザー 日本電子 JXA-8230

課題番号

別記様式第1号

## 機器センター装置有償利用申請書（成果公開用）

年 月 日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
分子科学研究所長 殿

下記のとおり貴研究所の装置を有償利用したいので申請します。  
また、実施にあたり、万一の傷害等の保障に関しては、申請者と申請者の所属機関においてすべての責任を負うことを誓約します。

## 記

申請者	氏名	
	所属・職名	
	住所	〒
	連絡先	TEL e-mail
企業種別（※）	<input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> その他	
分野・業種等（※）	(1～25のうち該当する番号を記入)	
*・・・本様式末尾記載の基準及び一覧から選択すること		
研究課題名		
利用希望装置		
利用希望期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (2週間以内)	
利用希望日数及び時間数（見込み）	日間 ( 時間)	
放射線業務従事	<input type="checkbox"/> 有 (注)有の場合は「放射線業務従事承認書」を提出してください。 <input type="checkbox"/> 無	
寒剤の利用	ヘリウム： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 、 窒素： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
研究目的と実施計画	各項目についてA4判縦1枚(2ページ)に入るように記述し、添付してください。 1) 研究目的(500～1000字程度) 2) 研究の実施計画(1000字～2000字程度)	
申請者の所属機関における承認	承認者氏名	
	所属・部署	

(申請者の所属機関が本申請を承認していることについてご記入ください。)	職名(役職)			
共同利用研究者 (上限5名まで)		氏名	所属	職名
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
不正防止に関する誓約	<p>申請者及び共同利用研究者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、以下のガイドライン等を理解し、これらのガイドライン・方針・規程、自身が所属する機関の規則、関連する法令等を遵守し、研究活動における特定不正行為(捏造、改ざん、盗用)、及びそれ以外の不正行為(不適切なオーサiership、二重投稿等)を行いません。</p> <p>(1) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成26年8月26日文科科学大臣決定)  <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afielddfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf">https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afielddfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf</a></p> <p>(2) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構研究活動上の不正行為を防止するための基本方針(平成20年2月28日決定)  <a href="https://www.nins.jp/open/post_8.html">https://www.nins.jp/open/post_8.html</a></p> <p>(3) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構における研究活動上の不正行為への対応に関する規程(平成20年2月28日自機規程第74号)  <a href="https://www.nins.jp/open/3157.pdf">https://www.nins.jp/open/3157.pdf</a></p> <p>以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 誓約します。</p>			
安全管理に関する誓約	<p>申請者及び共同利用研究者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、分子科学研究所安全ガイド(<a href="https://www.ims.ac.jp/about/safetyguide2021_2022.pdf">https://www.ims.ac.jp/about/safetyguide2021_2022.pdf</a>)を理解し、これらのガイドライン、自身が所属する機関の規則、労働安全衛生法等の関連する法令等を遵守し、安全と環境を常に意識しながら、研究活動における事故・災害の発生防止に努めます。</p> <p>以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 誓約します。</p>			
マテリアル先端リサーチインフラ施設及び設備利用約款に関する承諾	<p>申請者及び共同利用研究者は、本研究所の装置の有償利用にあたり、マテリアルリサーチインフラ施設及び設備利用約款(<a href="https://arim.ims.ac.jp/wp-content/uploads/contract.pdf">https://arim.ims.ac.jp/wp-content/uploads/contract.pdf</a>)に承諾していただく必要があります。</p> <p>約款について、承諾する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 承諾します。</p>			
マテリアル先端リサーチインフラデータ登録約款に関する承諾	<p>申請者及び共同利用研究者は、本研究所の装置の有償利用にあたり、マテリアルリサーチインフラデータ登録約款(<a href="https://arim.ims.ac.jp/wp-content/uploads/data_registration.pdf">https://arim.ims.ac.jp/wp-content/uploads/data_registration.pdf</a>)に承諾していただく必要があります。</p> <p>約款について、承諾する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 承諾します。</p>			
DICEアカウント取得の確認	<p>申請者及び共同利用研究者は、本研究所の装置の有償利用にあたり、材料データプラットフォーム(DICE)のアカウント(<a href="https://dice.nims.go.jp/usage.html">https://dice.nims.go.jp/usage.html</a>)を取得していただく必要があります。</p> <p>DICEアカウントについて、取得した場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 取得しました。</p>			
希望事項				

記載  
不要

確認者	確認日付	氏名
センター長	年 月 日	
担当者	年 月 日	

---

#### 【企業種別基準】

大企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらかに該当するもの  
中小企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらにも該当しないもの  
その他 上記に該当しないもの

#### 【分野・業種等一覧】

1 有機材料／2 電子・磁性・金属・無機材料／3 繊維・窯業・紙・パルプ／4 食品・飲料  
／5 化粧品・トイレタリー／6 医療・医薬品／7 精密機器・産業機械製造業／8 医療機器製造  
業／9 分析・計測機器／10 電気・電子機器・総合電機／11 半導体・電子部品製造業／12 自  
動車・輸送・運輸機器・部品製造業／13 鉄鋼・非鉄金属製造業／14 商社・代理店・流通・小売  
業／15 電力・ガス・石油・その他エネルギー／16 建設・不動産／17 情報・通信／18 金  
融・投資・コンサルティング／19 シンクタンク／20 水産・農林・鉱業／21 報道・メディア・  
出版／22 外国公館・機関・団体／23 官公庁・自治体・地方公共団体／24 教育・研究機関／  
25 その他

課題番号

別記様式第2号

## 機器センター装置有償利用申請書（成果非公開用）

年 月 日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
分子科学研究所長 殿

下記のとおり貴研究所の装置を有償利用したいので申請します。

また、実施にあたり、万一の傷害等の保障に関しては、申請者と申請者の所属機関においてすべての責任を負うことを誓約します。

## 記

申請者	氏名	
	所属・職名	
	住所	〒
	連絡先	TEL e-mail
企業種別（※）	<input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> その他	
分野・業種等（※）	(1～25のうち該当する番号を記入)	
*・・・本様式末尾記載の基準及び一覧から選択すること		
研究課題名		
利用希望装置		
利用希望期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (2週間以内)	
利用希望日数及び時間数（見込み）	日間（ 時間）	
放射線業務従事	<input type="checkbox"/> 有 (注)有の場合は「放射線業務従事承認書」を提出してください。 <input type="checkbox"/> 無	
寒剤の利用	ヘリウム： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 、 窒素： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
研究の具体的方法		
申請者の所属機関における承認 (申請者の所属機関が本申請を承認していることについてご記入ください。)	承認者氏名	
	所属・部署	
	職名(役職)	

共同利用研究者 (上限5名まで)		氏名	所属	職名
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
不正防止に関する誓約	<p>申請者及び共同利用研究者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、以下のガイドライン等を理解し、これらのガイドライン・方針・規程、自身が所属する機関の規則、関連する法令等を遵守し、研究活動における特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）、及びそれ以外の不正行為（不適切なオーサiership、二重投稿等）を行いません。</p> <p>(1) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成26年8月26日文部科学大臣決定）  <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/__icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf">https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/__icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf</a></p> <p>(2) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構研究活動上の不正行為を防止するための基本方針（平成20年2月28日決定）  <a href="https://www.nins.jp/open/post_8.html">https://www.nins.jp/open/post_8.html</a></p> <p>(3) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構における研究活動上の不正行為への対応に関する規程（平成20年2月28日自機規程第74号）  <a href="https://www.nins.jp/open/3157.pdf">https://www.nins.jp/open/3157.pdf</a></p> <p>以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 誓約します。</p>			
安全管理に関する誓約	<p>申請者及び共同利用研究者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、分子科学研究所安全ガイド (<a href="https://www.ims.ac.jp/about/safetyguide2021_2022.pdf">https://www.ims.ac.jp/about/safetyguide2021_2022.pdf</a>) を理解し、これらのガイドライン、自身が所属する機関の規則、労働安全衛生法等の関連する法令等を遵守し、安全と環境を常に意識しながら、研究活動における事故・災害の発生防止に努めます。</p> <p>以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。  <input type="checkbox"/> 誓約します。</p>			
希望事項				

記載不要

確認者	確認日付	氏名
センター長	年 月 日	
担当者	年 月 日	

【企業種別基準】

大企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらかに該当するもの

中小企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらにも該当しないもの  
その他 上記に該当しないもの

【分野・業種等一覧】

1 有機材料／2 電子・磁性・金属・無機材料／3 繊維・窯業・紙・パルプ／4 食品・飲料  
／5 化粧品・トイレタリー／6 医療・医薬品／7 精密機器・産業機械製造業／8 医療機器製造  
業／9 分析・計測機器／10 電気・電子機器・総合電機／11 半導体・電子部品製造業／12 自  
動車・輸送・運輸機器・部品製造業／13 鉄鋼・非鉄金属製造業／14 商社・代理店・流通・小売  
業／15 電力・ガス・石油・その他エネルギー／16 建設・不動産／17 情報・通信／18 金  
融・投資・コンサルティング／19 シンクタンク／20 水産・農林・鉱業／21 報道・メディア・  
出版／22 外国公館・機関・団体／23 官公庁・自治体・地方公共団体／24 教育・研究機関／  
25 その他

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
分子科学研究所長

下記のとおり、機器センター装置有償利用を許可します。

## 記

利用者（申請者）	
利用者所属	
共同研究者人数	
研究課題	
課題番号	
利用装置	
利用期間	
利用時間数又は日数	
使用料（見込み）	円（消費税込） ※この金額は見込みであり、実際の使用料は請求書により別途通知します。 （内訳）
許可条件	① 利用に当たっては、善良な管理者の注意をもって当てること。 ② 第三者に貸与しないこと。 ③ 実験施設を破損したときは、損害賠償を行うこと。 ④ その他使用に当たっては、研究所の指示に従うこと。
その他	① 使用に当たり、研究所の指示に従わない場合においては、利用許可を取り消すことができるものとする。 ② 成果公開の場合は、機器センターの指示に従い報告書を提出すること。成果非公開の場合は、利用報告書を期限までに提出すること。

別記様式第 4 号

機器センター装置利用報告書（成果非公開用）

年 月 日

分子科学研究所長 殿

利用者 氏名：  
所属：  
職名：

下記のとおり装置の利用結果を報告します。

記

利用した装置：

研究課題：

課題番号：

共同研究者：(所属・職名・氏名)

利用期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

分子研担当者：

利用内容（概要）：

記載不要

確認者	確認日付	氏名
センター長	年 月 日	
担当者	年 月 日	

## 機器センター装置有償利用の実施確認について

年 月 日

確認者（装置担当者）

所属

職名

氏名

下記のとおり、機器センター装置有償利用を実施したことを確認しました。

## 記

利用者（申請者）	
利用者所属	
共同研究者を含めた 装置の利用人数	人
研究課題	
課題番号	
利用装置	
利用期間 (不連続の場合は全て記入)	開始： 年 月 日 時 分 終了： 年 月 日 時 分
利用日数及び時間数	
寒剤使用	<p>・ヘリウム <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有（以下ご記入ください）  開始： 年 月 日 時 分  終了： 年 月 日 時 分  使用日数及び時間数： 日間（ 時間）</p> <p>・窒素 <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有（以下ご記入ください）  開始： 年 月 日 時 分  終了： 年 月 日 時 分  利用日数及び時間数： 日間（ 時間）</p>
その他	